

P2 市議会臨時会〔5月〕提出議案の概要について

質問	回答
Q1 いじめ問題の内容や、今回の予算（約3,000万円）は金銭的な解決を図るためのものか？	A1 現在、調停を控えているため詳細は控えさせていただく。市内の学校で起きている事案である。予算については、金銭解決そのものではなく、「いじめ問題専門委員会」の開催費用と、裁判の手続きと同様に必要となる調停申し立ての費用の2本立てとなっている。
Q2 このような専門委員会の開催は、市として何例目か？	A2 市内では3例目である。

P5 スマートシティ推進の取り組み

生活データを活用したWell-being向上を目指す実証実験の開始（全国初）

質問	回答
Q1 実証実験に参加する100人の年代や選定基準は？	A1 主に40歳以上の方と、18歳以上で一人暮らしの方を対象としている。高齢者の健康管理や、一人暮らしの方の孤独・孤立対策が目的である。
Q2 具体的にどのような孤立対策を行うのか？	A2 電気や水道の使用量データを分析し、例えば「夜間に異常な電力使用がある」などの生活リズムの乱れを把握することで、大学（名古屋大学）と連携して有効な介入方法を検討していく。

P9 桑名市の物価高騰対策

生活者支援 「実感」手元に現金5000円お届け事業スタート！

質問	回答
なし	

P11 人口減少対策パッケージの更なる推進

- ・定住者にも！住宅購入の補助対象拡充
- ・好きを学びにつなげるプロジェクト 高校生の“探究”を支援します！

質問	回答
Q1 なぜ高校生も対象にする必要があったのか？	A1 これまで、小中学校は体験の拡充、大学では連携して政策提案などを行っている。これから将来を選択する高校一年生が、実際にどのようなキャリアを進んでいくのかを考えていくうえで、地域のこともより知ってもらい、進路を進んでいくためにやっていきたいと思っている。世界の広さを知ってもらい、桑名西高校以外の市内の県立高校にも広げていきたい。

その他

質問	回答
Q1 高市総理に蛤を届けることになった経緯は？	A1 参議院予算委員会で総理が「その手は桑名の焼き蛤」と答弁したことがきっかけである。公式の場で市名が出たことに市民から大きな反響があり、「総理に本物を届けた方がいい」という声を受け、観光協会と協力して実施した。
Q2 今年の多度祭りを終えた感想と、今後の支援は？	A2 担い手不足（子供の減少）により、本来7地区で行うところを3地区のみの参加となったことは非常に心配している。何百年も続いている祭りなので、誇るべき文化財であり、長く続けてほしいと考えている。